

# J-BAC 会員向けメールマガジン

## ～ 日本以外の飲酒運転・アルコールチェック事情 Vol.9～

業務委員会・海外班では、各メンバーが分担し、世界の各地域の飲酒運転やアルコール検知器に関連する情報をクリッピングし、会員のみなさまへお届けするメールマガジンを始めることにしました。お時間あるときに、気軽にご覧ください。

欧州担当 : 吉田委員 (SenseAir)  
台湾・韓国・中国担当 : 森田委員 (SEIKOIST)  
陸委員 (SEIKOIST)  
東南アジア・北米 : 杉本委員 (東海電子)  
編集 : 業務委員会 海外班杉本  
2025.4.24

### 1. ヨーロッパ各国の飲酒運転の概況 (吉田委員)

#### ○イタリア

イタリア政府は、新しいアルコールインターロックプログラムの詳細を欧州委員会に送付し、早ければ今年7月に有罪判決を受けた飲酒運転者に対するプログラムを導入する予定です。

プログラムの概要は、血中アルコール濃度レベル (BAC) が 0.8~1.5g/l (呼気アルコール濃度(BrAC):0.4~0.75mg/l) の飲酒運転で有罪判決を受けたドライバーは2年間自費で車両にアルコールインターロックを取り付けます。さらに BAC が 1.5 g/l(BrAC:0.75mg/l)を超える場合、期間は少なくとも3年に引き上げられます。アルコールインターロックプログラム導入の理由は明確で、アルコール濃度がこのしきい値を超えると、重大事故のリスクは、飲酒運転していないドライバーの約200倍になるためです。イタリアは、免許停止の代替としてアルコールインターロックプログラムを導入した最新のEU加盟国となります。ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、リトアニア、ポーランド、スウェーデンでは、すでに司法制度でこの装置が使用されています。

欧州委員会によると、大規模な研究では、アルコールインターロックは、ライセンスの撤回や罰金などの従来の措置よりも再発防止に効果的であることが示されています。

イタリアでのアルコールインターロックプログラムの概要ですが、装置は定期的に校正が必要で、関連書類は常に車両に搭載している必要があります。書類は警察から提示を要求される場合があります。装置のしきい値は血中アルコール濃度 0.1g/l(BrAC : 0.05mg/l)以下で車をロックするように調整されています。これは、通常ドライバーの法定制限 0.5g/l(BrAC:0.25mg/l)を下回っています。アルコールインターロックの費用は莫大で、推定コストは約2,000ユーロ、これに使い捨てマウスピース(エンジンをかけるたびに使用される)、メンテナンス、定期的な校正の費用が追加されます。

罰則については有罪判決を受けた人が装置なし、または回避して車両を運転しているのが見つかった場合、158~638ユーロの罰金が科せられ、さらに免許が1~6か月停止されます

#### ○オランダ

オランダでは、飲酒運転に対する厳しい措置を支持しており、一般市民とオランダ議会の過半数の両方がアルコールインターロックの再導入を支持しています。

オランダは以前、アルコールインターロックを導入していましたが、国务院と最高裁判所が、プライバシ

一の配慮が不十分であると判断したため、2016年にこの措置が廃止されました。大きな問題としては、すべての車にインターロックを取り付けられないこと、価格が高いこと等がありました。

最近の調査によると、オランダの人口の84%が、常習犯に対するアルコールインターロックの導入を支持していることが明らかになりました。さらに、回答者の約4分の3は、車、オートバイ、自転車のドライバーに対してアルコールを完全に禁止すべきだと考えています。これは、現在の飲酒運転のBACレベルである0.5g/lよりも厳しいスタンスです。

オランダの被害者支援基金は、技術の進歩によりアルコールインターロックの信頼性・精度と実現可能性が向上し、その再導入が可能になったと主張しています。同財団は、オランダ議会に対し、アルコールインターロックプログラムを復活させることにより、飲酒運転に対して迅速かつ効果的な行動を取るよう求めています。また、「重大な飲酒事故を起こすのは、再犯者の小さなグループである」ため、再犯者に焦点を当てるべきだと強調しています。

政府は現在、アルコールインターロックを復活させる可能性を調査しており、今年の前半に結果が出る見込みです。

## 2. 北米（東海電子 杉本委員）

○アメリカ

アメリカのNHTSAが2023年の交通事故統計（速報値）を公表しました。

<https://www.nhtsa.gov/press-releases/nhtsa-2023-traffic-fatalities-2024-estimates>

### 自動車交通事故の概要（2023年）



#### Overview of Motor Vehicle Traffic Crashes In 2023

There were 1,820 fewer people killed in motor vehicle traffic crashes on U.S. roadways during 2023, a 4.3-percent decrease from 42,721 in 2022 to 40,901 in 2023. It represents the second year-to-year decrease since 2021. The fatality rate per 100 million vehicle miles traveled (VMT) decreased by 6.0 percent from 1.34 in 2022 to 1.26 in 2023.

The estimated number of people injured on our roadways increased in 2023 to 2.44 million, rising 2.5 percent from 2.38 million in 2022. This increase was not statistically significant. The injury rate per 100 million VMT remained the same at 75 in 2022 and 2023.

The estimated number of police-reported traffic crashes increased from 5.93 million in 2022 to 6.14 million in 2023, a 3.5-percent increase which was not statistically significant. VMT for 2023, reported through the Federal Highway Administration (FHWA), increased by 1.6 percent from 3,196 billion in 2022 to 3,247 billion in 2023.

- Traffic fatalities **decreased** in 2023 compared to 2022 in the following categories:
  - Passenger vehicle<sup>1</sup> occupant fatalities (1,541 fewer fatalities, 6.0% decrease)
    - Passenger car occupant fatalities (945 fewer fatalities, 7.4% decrease)
    - Light-truck<sup>2</sup> occupant fatalities (596 fewer fatalities, 4.7% decrease)
  - Passenger vehicle occupant fatalities in vehicles that rolled over (745 fewer fatalities, 10% decrease)
  - Passenger vehicle occupant fatalities who were ejected (500 fewer fatalities, 9.1% decrease)
  - Passenger vehicle occupant fatalities who were unrestrained (875 fewer fatalities, 7.7% decrease)
  - Fatalities in large-truck<sup>3</sup> crashes (497 fewer fatalities, 8.3% decrease)
    - Large-truck<sup>3</sup> occupant fatalities (137 fewer fatalities, 12% decrease)
  - Pedestrian fatalities (279 fewer fatalities, 3.7% decrease)
  - Urban fatalities (1,371 fewer fatalities, 5.4% decrease)
  - Rural fatalities (643 fewer fatalities, 3.7% decrease)
  - Fatalities in traffic crashes involving older drivers<sup>4</sup> (119 fewer fatalities, 1.4% decrease)
  - Speeding-related fatalities (382 fewer fatalities, 3.1% decrease)
  - Alcohol-impaired-driving fatalities (1,029 fewer fatalities, 7.6% decrease)
  - Fatalities in distraction-affected crashes (40 fewer fatalities, 1.2% decrease)

<sup>1</sup> Includes passenger cars and light trucks.

<sup>2</sup> Includes SUVs, pickups, vans, and other/unknown light trucks with gross vehicle weight ratings (GVWR) of 10,000 pounds or less.

<sup>3</sup> Includes commercial and non-commercial trucks with GVWRs over 10,000 pounds. This definition applies to any mention of "large truck" throughout this report.

<sup>4</sup> Refers to people 65 and older operating a motor vehicle.

<サマリー>

2023年、アメリカ国内の道路で発生した自動車交通事故による死亡者数は、前年の42,721人から40,901人へと1,820人減少し、4.3%の減少となりました。これは2021年以降で2年連続の減少です。車両走行距離1億マイルあたりの死亡率は、2022年の1.34から2023年には1.26となり、6.0%の減少でした。

負傷者数は2023年に約244万人と推定され、2022年の238万人から2.5%増加しましたが、統計的に有意な増加ではありません。車両走行距離1億マイルあたりの負傷率は、2022年と同じ75のままでした。

警察に報告された交通事故件数は、2022年の593万件から2023年には614万件に増加し、3.5%の増加となりましたが、これも統計的に有意な増加ではありません。連邦高速道路局（FHWA）によると、2023年の走行距離（VMT）は2022年の3兆1,960億マイルから3兆2,470億マイルへと1.6%増加しました。

このレポ中、飲酒運転事故数・率も記載されています。



## 2. 아시아 (韓国・中国) (SEIKOIST 陸 委員)

○韓国 2025 年道路交通法改正。

2025 年 6 月 4 日からいわゆる「酒飲み逃げ」手法として知られる血中アルコール濃度を下げるために追加で飲酒をしたり、薬品を使用した場合、1 年以上 5 年以下の懲役または 500 万ウォン以上 2000 万ウォン以下の罰金が科されます。このとき、運転免許の行政処分は飲酒測定拒否者と同様に適用されるのでご注意ください。

### '술타기' 수법 처벌

- 음주 운전 후 혈중알코올농도 희석
- 음주 측정 방해 목적으로 추가 음주 또는 의약품을 사용하는 행위



### 酒飲み逃げ手法の処罰

- 飲酒運転後、血中アルコール濃度を希釈する行為
- 飲酒測定を妨害する目的で追加の飲酒または薬品を使用する行為

### 위반 시

1년 이상 5년 이하의 징역 또는  
500만 원 이상 2,000만 원  
이하의 벌금형

\* 운전면허 행정처분은 음주 측정 거부자와 동일하게 적용

### 違反時：

1 年以上 5 年以下の懲役または 500 万ウォン以上 2000 万ウォン以下の罰金

※運転免許の行政処分は、飲酒測定拒否者と同様に適用されます。

### 음주운전 방지 장치란?

운전자 호흡 검사로 알코올 검출 시  
시동이 걸리지 않도록 하는 장치

\* 5년 내 음주운전 2회 이상 적발 시,  
결격 기간 종료 후 방지 장치 부착 차량만  
운전 가능한 면허 발급



### 장치 부착 기간

- 단순 음주운전 2회 이상 ————— 2년
- 음주로 인한 교통사고 2회 이상 ——— 3년
- 음주운전 뺑소니 및 사망사고 ————— 5년

### 飲酒運転防止装置とは、

運転者の呼吸検査でアルコールが検出された場合に、エンジンがかからないようにする装置です。過去 5 年以内に飲酒運転が 2 回以上摘発された場合、欠格期間終了後に防止装置が取り付けられた車両のみ運転可能な免許が発行されます。

### 装着期間

- 単純飲酒運転 2 回以上： 2 年
- 飲酒運転のひき逃げおよび死亡事故： 5 年
- 飲酒による交通事故 2 回以上： 3 年

10月25日からは、運転者の呼吸検査でアルコールが検出された場合にエンジンがかからないようにする飲酒運転防止装置が導入されます。また、最近5年以内に飲酒運転が2回以上摘発された運転者の方は、該当装置を車両に取り付ける必要があり、未取り付けの場合は運転に制限がある可能性があるため、必ず確認してください。

### ○中国における電動モビリティの飲酒運転規制

中国の電動モビリティは2003年から急速に発展し、その後の数年間で、業界の規模と生産・販売量は毎年50%を超える驚異的な速度で増加しております。利用の増加により、電動モビリティが関与する交通事故も増加しています。2024年、中国全国の電動モビリティ事故による死亡者数は8000人を超え、年間平均で10%増加しています。

中国では、飲酒後に電動モビリティに乗ることは飲酒運転とみなされ、電動モビリティのタイプによって飲酒運転の規制も分けられています。

#### 【電動モビリティのタイプ】

分類	時速	車両重量	動力
車両	最高時速 50km 以上	55 キロ以上	・定格出力：400W 以上、或いは連続出力合計：4kw 以上 ・蓄電池電圧：48V 以上 (改造車を含む)
軽車両	最高時速 50km 以下	55 キロ以下	・定格出力：400W 以下 ・蓄電池電圧：48V 以下

#### 【電動モビリティ飲酒運転の罰則】

中国では、電動モビリティの飲酒運転基準は基本的に自動車と同じ基準となっております。ドライバーの血中エタノール含有量が 20mg/100ml を超えた場合、違法となり、酒気帯び運転とみなされます。血中エタノール含有量が 80mg/100ml 以上の場合、酒酔い運転と見なされ、刑事犯罪となります。

分類	飲酒運転の種類	罰金 (RMB)	運転免許	拘留	その他
車両	酒気帯び運転	1000 元～2000 元	6 か月停止	—	
	酒気帯び運転再犯	1000 元～2000 元	取り消し	10 日以下の拘留	
	酒酔い運転	—	取消、五年以内再取得不可	—	法律によって刑事責任を追及
軽車両	酒酔い運転	5 元～50 元	—	—	罰金の処罰を拒否した場合、軽車両押収

電動モビリティの飲酒運転は危険な行為であり、ルールを守らなければ重大な事故につながるリスクがあります。常に安全な運転を心がけましょう。

### 3. 東南アジア（タイ・ベトナム）（東海電子 杉本）

#### ○ベトナム 飲酒運転取り締まり状況

交通警察署によると、2022年から2024年にかけて、全国の交通事故の最大20%が飲酒運転に関連していた。したがって、交通事故で死亡または負傷する5人のうち1人は、飲酒運転により死亡または負傷していることになります。

全国的に、交通事故の最大20%はアルコール濃度が原因であり、ホーチミン市は引き続き「取り締まり」を続けている。ホーチミン市は、交通事故、特にアルコール濃度に関連する事故の削減に貢献するために、宣伝対策と組み合わせてアルコール濃度の規制を強化しています。

ホーチミン市だけでも2024年に1,459件の交通事故が発生し、472人が死亡、863人が負傷した。このうち352件（24.12%）の交通事故はアルコール濃度に関連しており、132人が死亡、265人が負傷した。交通警察はまた、アルコール濃度違反事件169,957件の処理を記録した。



「広報活動と厳格な対応は、特にホーチミン市における交通事故削減の目標達成に大きく貢献しました。特に政令168号の施行後、交通事故の記録件数は3つの側面すべてにおいて大幅に減少しました。2024年の同時期と比較すると、2025年の最初の2か月（2024年12月15日から2025年2月15日まで）の事故件数は48%減少し、死亡者数は20%減少し、負傷者数は61%減少しました」とロイ氏は述べた。

全国的に、**交通事故の最大20%はアルコール濃度が原因であり**、ホーチミン市は引き続き「取り締まり」を続けている。

警察には「ビールを2杯飲んだだけだ」と告げたが、アルコール濃度は最高値だった

しかし、ホーチミン市は2025年初頭から現在に至るまで、継続的に検査を実施し、アルコール濃度違反の運転者29,958件を検出し、罰金を科しています。そのため、ロイ氏は、違反を持続可能な形で減らすために、部隊は粘り強く宣伝活動を続ける必要があると述べた。併せて巡回を行い規定に従って厳重に取り扱います。厳格な施行も意識を高める効果的な方法だからです。

#### ○ベトナム

##### ノンアルコールパーティーの流行

交通安全規則を厳守し、文明的な生活を目指し、最近では宴会などでお酒を飲まない人も多くなっています。

イベントセンターでパーティーを開催する多くの企業では、テーブルにアルコールを置かないように



義務付けている。クアンチュン区（ハイズオン市）の NVT さんは外国企業に勤務しています。彼は仕事の性質上、頻繁にパートナーと会わなければならなかったため、長年にわたり飲酒を続けました。「平均すると週に3回は仲間と飲みに行き、ほぼ毎回酔っぱらいます。一度、酔っ払って自転車から落ちたこともありましたが、幸い足に擦り傷を負っただけで済みました」と T 氏は語る。それ以来、彼は「お酒を断つ」ようになったという。彼は交流するたびに、それを少量のソフトドリンクに置き換えます。

個人だけでなく、多くの企業も従業員の健康とプロフェッショナルな労働環境を確保するためにアルコール制限ポリシーを適用しています。代表的な例は、トゥミン区（ハイズオン市）にあるフォード・ベトナム・カンパニー・リミテッドです。これは、世界基準を満たす安全で尊重される職場環境を作り出すというフォードの取り組みの一環です。



フォード人事部のスペシャリスト、ダオ・ティ・ティエム氏は次のように述べています。「フォードでは、常にプロフェッショナルで安全、そして敬意ある職場環境を目指しています。職場におけるアルコール摂取を制限するというグローバルポリシーは、従業員のパフォーマンスと集中力を高めるだけでなく、フォードが常に追求している責任感、規律、そして真摯な労働文化を示すものでもあります。」

上記のポリシーは勤務時間中だけでなく、忘年会、記念日、新製品発表などの社内イベントにも適用されます。フォード ベトナムは、1,300 人を超える従業員の総意により、健全かつプロフェッショナルで効果的な労働環境を維持し続けています。

高級レストランやホテルに限らず、お酒を飲まないことがトレンドになってきました。ハイズオン省のいくつかの大規模イベントセンターを調査したところ、以前はパーティーゲストの100%がアルコールをリクエストしていましたが、現在ではその数は30%減少し、さらに減少し続けていることがわかりました。

「多くの企業は、パーティーの予約時に契約書に署名する時点から、テーブルにアルコールを置かないよう求めてきます。ミネラルウォーターのボトルでさえ、従業員がアルコールを持ち込んで飲み物を飲んでしまうという意識の低さを避けるため、置かないようにしています。このように、企業がアルコールの使用禁止にますます真剣に取り組んでいることが分かります」と、ナムクオン観光サービス株式会社（ナムクオンホテル）の営業部長、グエン・ヒュー・ハン・タム氏は述べた。

企業だけでなく、ハイズオン省の多くの政府機関や部署でも、昼食時にアルコールを飲まないという規制が厳格に実施されています。

## ○ベトナム

コンテナ運転手、アルコール濃度が基準値の 2.2 倍を超えたため 3500 万ドンの罰金

最高刑の 2 倍のアルコール濃度を保っていたコンテナ運転手が高速道路で停車させられたが、依然として法律と命を無視する運転手がいることが示された。

交通警察局の最新統計によると、法令 168/2024/ND-CP の施行から 2 か月後、全国のアルコール濃度違反件数は 46% 近く減少した。これは前向きな兆候と捉えることもできるが、法律や自分自身、周囲の人々の安全を無視するケースが依然として多くある。典型的な例としては、3 月 3 日の午後、ファップヴァン・カウジー高速道路を運転中に極めて高いアルコール濃度が検出されたコンテナトラック運転手のケースが挙げられる

高速道路交通警察第 3 隊（交通警察部）の情報によると、午後 4 時頃、3 月 3 日、この高速道路を巡回中の特別部隊が、ナンバープレート 73E-002.XX、運転手 HVT（41 歳、クアンビン出身）が運転するコンテナトラックを停止させた。この運転手は車から降りるとすぐに明らかに酔っている兆候を見せた。その後の検査結果で、T さんの呼気中のアルコール濃度は 0.877mg/l に達しており、これは規則で定められた最高刑の 2 倍を超える重大な違反レベルであることが判明した



## ○ベトナム

ホーチミン市交通警察は、アルコール濃度違反で一連の自転車運転者に罰金を科した。

法令 168/2024 が発効して以来、つまり 2025 年の最初の 3 か月以降、ホーチミン市交通警察は、アルコール濃度違反で一連の自転車運転者に罰金を科している。

3 月 18 日、交通警察局（PC08、ホーチミン市警察）は、タンソンニャット交通警察チームがアルコール濃度違反で一連の自転車運転者に罰金を科したと発表した。アルコール濃度違反は重大な交通事故の主な原因の一つです。



これを受けて、タンソンニャット交通警察は「禁止区域なし、例外なし」をモットーに、管轄区域内での巡回、取り締まり、アルコール濃度違反の取り扱いを強化した。同時に、自転車と電動自転車の運転者に対する取り締まりの時間と範囲を拡大し、違反行為を断固として処理し、交通事故を積極的に防止し、地域の交通参加者の法令遵守意識を高めています。

ホーチミン市交通警察は、アルコール濃度違反で一連の自転車運転者に罰金を科した - 写真 1。自転車でのアルコール濃度違反に対する最高罰金は 600,000 ドンです。

特に、2025 年 2 月 15 日から現在までに、タンソンニャット交通警察チームは、アルコール濃度違反をした自転車運転者 51 人に罰金を科しました。パトロール隊は今年初めから 3 月 15 日までの間に、電動自転車 5 台と自転車 11 台を含む 16 人の自転車利用者にアルコール濃度違反で罰金を科した。

ホーチミン市警察交通警察局は、2025 年の最初の 3 か月間で、市内の交通警察がアルコール濃度違反で 4 万 419 件の罰金を科したと発表した。乗用車 1 台、自動車 32 台、バイク 38,722 台、その他車両 1,600 台以上（自転車、電動自転車などを含む）が含まれます。

交通警察は 1 万 2 3 9 4 件の運転免許証を取り消し、3 9 5 2 件の運転免許点数を減点した。これまで、ホーチミン市交通警察は 2024 年に約 17 万件のアルコール濃度違反を記録し、8 万 488 件の運転免許を取り消した。

#### ○ベトナム

アルコール濃度の高い運転手がホーチミン市・ロンタン高速道路で 23 人を乗せたバスを運転

交通警察はホーチミン市～ロンティン～ザウザイ高速道路で 23 人を乗せた寝台バスを検査し、運転手がアルコール濃度制限に違反していたことを発見したため、報告書を作成して対処した。

アルコール濃度の高い運転手がホーチミン市-ロンタン高速道路で 23 人を乗せたバスを運転中、運転手 D は高速道路で旅客バスを運転中にアルコール濃度違反を犯し、交通警察から罰金を科せられた。具体的には、検査により、運転手 D は呼気中のアルコール濃度 0.234mg/l (呼気中 0.25mg/l 以下) の規定に違反しました。運転手 D は 600 万～800 万ドンの罰金を科せられ、運転免許証から 4 点が差し引かれる。



#### ○ベトナム

3 月 28 日、ホーチミン市工科大学 (Hutech) にて、「飲酒運転」をテーマに交通安全について学ぶプログラムが開催されます。

このプログラムは、国家交通安全委員会 (NTSC)、ハイネケン・ベトナム、最高人民法院 (SPC) の機関紙であるコン・リー新聞、ホーチミン市交通安全委員会によって主催されています。HCM、ホーチミン市工科大学- Hutech および関連ユニット。このイベントは、Hutech University Hall でライブ配信され、YouTube、Cong Ly Newspaper ファンページ、Hutech University などのデジタルメディアチャンネルでもオンラインで開催されました。



数千人の学生が直接参加し、プラットフォーム経由で視聴することが予想されます。

HCM は交通に参加するドライバーのアルコール濃度をチェックします。このプログラムの主な目的は、特にヒューテック大学の管理職、学生、従業員、そしてホーチミン市と全国の人々に、交通安全と秩序の確保に関する法規制、特に 2024 年 9 月 17 日付指令第 35/CT-TTg 号と 2024 年 12 月 26 日付政府政令第 168/2024/ND-CP 号を徹底的に理解し、厳格に実施することを広く周知させることです。同時に、交通に参加する運転者のアルコール濃度に関する法的規制を遵守

し、法律の普及と教育に直接参加し、友人、親戚、地域社会を動員して草の根レベルで法律を遵守するという若い世代の中核的かつ模範的な役割を促進します。

そこから、交通に参加する際、特に飲酒運転をする際の法律に対する意識や遵守、また違反行為の取り締まりを受けた際の態度や行動に明らかな変化が現れるでしょう。

このプログラムはまた、宣伝、普及、法教育の活動に携わる記者チームと学校宣伝担当者の宣伝と動員のレベルとスキルを訓練し、向上させます。「お酒やビールを飲んだら運転しない」をモットーに、公務員、従業員、学校の生徒全員に交通参加に関する文化的意識を育み、安全で健康的な学校づくりに貢献します。これにより、一般的な交通事故、特に学校におけるアルコール濃度規制に違反した生徒に関連する交通事故の削減に貢献します。

このプログラムには何千人もの学生が参加すると予想されています。特に、プログラムには質疑応答セッションが設けられ、犯罪研究の専門家であるダオ・チュン・ヒュー中佐博士、ファム・ティ・キム・トゥエン中佐 - ホーチミン市警察交通警察局、交通事故の調査、解決、交通違反の処理を担当する宣伝チームの副部長。グエン・ゴック・ヒュー裁判官 - ホーチミン市トゥドゥック市人民裁判所副長官。これに先立ち、2月26日夜、第4軍区司令部は傘下の機関や部隊に対し、陸軍青年連合、国家交通安全委員会、正義新聞社、公安、ゲアン省青年連合、ヴィン大学、関連部隊と連携し、「第4軍区の軍隊は法律を尊重し、交通文化を築く」をテーマとした法律普及プログラムを実施するよう指示した。

#### ○ベトナム

交通警察は、バスの運転手が駅を出発する前にビールを飲んでいたり、トラックの運転手が「薬物を服用」してハンドルを握っていたことを発見した。

具体的には、午後8時15分頃、上記国道1B号線-環状3号線付近のエリアを巡回・取締り中だった交通警察第14チームのトラン・スアン・ラム隊長率いる作業班が、ナンバープレート「38B-014.XX」の寝台バスが逆走している兆候を発見し、車両を停止させて検査を行った。



交通警察は、バスの運転手が駅を出発する前にビールを飲んでいたり、トラックの運転手が「薬物を

服用」した後にハンドルを握っていたことを発見した。作業過程で、作業班は運転手に不審な兆候があることに気づき、アルコール濃度を検査したところ、呼気中のアルコール濃度は0.091mg/L（呼気0.25mg/L未満の違反）と判明した。検査当時、ハノイからハティンに向かうバスには9人の乗客が乗っていた。

ハノイ交通警察は3月15日から4月14日まで、巡回や取り締まりを通じて、アルコール濃度違反4,461件を含む16,705件の交通安全違反を発見・処理した。

今号は以上となります。

2025.04.24